

一九 小將馬廻年頭禮之次第

甲子年	小將	一番	馬廻	一番	半田五郎左衛門
乙丑年	同	一番	同	一番	藤田平兵衛
丙寅年	同	二番	同	二番	津田内記
丁卯年	同	二番	同	二番	山崎半左衛門
戊辰年	同	三番	同	三番	永井傳七郎
己巳年	同	三番	同	三番	
庚午年	同	四番	同	四番	
辛未年	同	四番	同	四番	
壬申年	同	五番	同	五番	
癸酉年	同	五番	同	五番	
甲戌年	同	六番	同	六番	

乙亥年	同	六番	同	六番
丙子年	同	一番	同	七番
丁丑年	同	一番	同	七番
戊寅年	同	二番	同	八番
己卯年	同	二番	同	八番
庚辰年	同	三番	同	九番
辛巳年	同	三番	同	九番
壬午年	同	四番	同	十番
癸未年	同	四番	同	十番
甲申年	同	五番	同	十一番
乙酉年	同	五番	同	十一番
丙戌年	同	六番	同	十二番
丁亥年	同	六番	同	十二番

一、當年より初め申にては無之候得共、其様子を見せ可申ため如此候。いづれにても前年最初に罷出候組之次より、一番に可罷出候。

一、兩年充相續候儀は、先年小將頭中へ申渡、此分に候。

一、其年最初に可罷出組、自然遠境之在番等にて年禮に不

罷出候とも、重而之年頭には如次第末々に可罷出候。尤兩年之内に候はゞ各別に候。

一、惣而之一二番と年頭とは品替候。又事關敷時分骨折申節は、次第を繰かへ申儀、是以各別に候。然共惣而之一二番をたて、それより次第相定候事に候。

一、畢竟其日城中勤番之儀になづみ決兼申候哉、一向其構無之儀に候。但、勤番之仕様は難書載に付無其儀候。以上。

子十二月七日